

5.17

■司会 内村 和洋<鹿児島県> 鹿児島県教育庁社会教育課社会教育主事
高橋久仁子<高知県> 高岡郡葉山村役場主監

1. 香春町芸術文化であい事業 ―文化施設の活性化と町民参加の方法― 14:15～14:40

高山 昌之<福岡県> 香春町教育委員会社会教育課長

この事業は、町民が芸術・文化に触れる機会を増やすことを目的として企画された。町民が他市町村の美術館や音楽ホールなどの文化施設のイベントに参加する際に、子どもには全額、大人には半額の補助をすることで、芸術の鑑賞機会を提供している。このことは、その地域の文化施設を広域で利用することの促進にもつながっており、施設の活性化にも貢献している。

2. 美祢国際大理石シンポジウムの展開と成果 14:40～15:05

安藤浩太郎・石田修詳<山口県> 美祢国際大理石シンポジウム実行委員会

美祢の白大理石を新たに文化活動の一環として、彫刻に活用し、地場産業振興や地域の活性化を図ろうと、世界で活躍中の6人の彫刻家を招待し、創作活動を公開している。地域住民の芸術意識の高揚を図り、このシンポジウムを地域に根づいた事業にするために努力している。開催までの経緯、開催中の内容、成果、課題について発表を行う。

～ ティータイム ～

15:05～15:40

3. 青年団の挑戦 ―自分づくりからまちづくりへ― 15:40～16:05

松田 和弘<宮崎県> 小林市青年団協議会長

無気力と言われる青年達が、合唱やアイガモ農法による稲作を通して、自分づくりを始めた。皆の気持ちが一つになり、心から涙し、仲間の存在や自分の役割を認識することで、自分に自信を深めている。そのきっかけとなった活動の経緯、青年達の変化を含めた成果、これからの課題について発表を行う。

4. PTAにおける環境教育への取り組みとふるさとファームステイ 16:05～16:30

西本 直之<熊本県> 菊池郡旭志中学校PTA会長

日本一のほたるの里にある旭志中学校では、平成7年度から2年間、環境教育研究推進校の指定を受けた。子どもたちは生徒会を中心に環境問題に取り組み、PTAでは子どもたちが農家に泊まり込む「ファームステイ」を企画。地域の産業に直に触れ、ふるさとを見直し、家族を考える機会として子どもたちに好評を得ている。

5. 総括討論 16:30～17:00